

アユ大漁今年こそ

広渡川漁協が稚魚放流

日南

日南広渡川漁協(戸田博組合長、320人)は21日、日南市を流れる広渡、酒谷川の計11カ所にアユの稚魚を放流した。昨年は不漁だったが、今年は大漁も順調で大漁に期待を込めている。

毎年この時期に実施。昨年は春の水不足と秋の大雨などの天候不順やカワウの飛来数増加、無許可での漁などが影響したという。稚魚は、延岡市の養魚場から取り寄せた体長7〜10センチ

計307匹。同日は、北郷小中学校裏に同漁協組合員、市の水産担当者ら6人が集合。大藤河川公園に移動し、組合員2人がバケツを使い広渡川に稚魚約30匹を勢いよく放流すると、元氣よく泳ぎ回り、川の中に消えていった。このほか、広渡川(谷之城橋、蜂之巣、坂元、平佐、屋野)と酒谷川(本町橋、桃の木、向田、深瀬、白木俣)に

トラックで移動し、バケツやホースを使い放流した。順調に育てば、6月1日の解禁日には体長20センチぐらいになるとい

戸田組合長(74)は「水量も豊富で、春先より天然アユの遡上(そ



稚アユの放流を行う日南広渡川漁協組合員

じょう)も多く見られる。たくさんの人にアユ漁を楽しんでもらいたい」と話していた。